



2022年5月25日発行

第 118 号

事務局 〒161-0033 東京都新宿区下落合
1-3-16ジョリーメゾンヌベル下落合205号
TEL/FAX 03-6457-3921
E-mail n.s.e.g@d7.dion.ne.jp
<http://www.seishineisei.gr.jp/>



〈目 次〉

日本精神衛生学会第38回大会のご案内	1
日本精神衛生学会第38回大会開催概要	2
2021年度第3回常任理事会議事録概要	4

日本精神衛生学会第 38 回大会のご案内

日本精神衛生学会第 38 回大会 大会長
船越 明子(神戸市看護大学看護学部)

感染症の流行やロシアのウクライナ侵攻など、未来の不確かさが強まり、将来に不安を感じる人が増えているように思います。そして、心の健康への関心は、より一層強まっています。日本精神衛生学会第 38 回大会は、「社会的孤立と心の健康」をテーマに、会場とオンデマンドの両方を活用したハイブリッド形式での開催を予定しています。

新型コロナウイルス感染症の流行によって人との接触が制限される中で、人々は他者との交流がいかに関生活に欠かせないものであったかを知りました。一方で、社会との接点を失い、あるいは自ら拒み、孤立している人たちの存在が世界的にも注目されています。日本は、友人、職場の同僚、その他社会団体の人々との交流がない人の割合が OECD 加盟国で最も高い『孤立大国』なのです。

社会的孤立は、心身の健康に影響を及ぼし、死亡率を上げることが知られています。複合的な課題を抱えていることが多く、多分野包括的な支援が必要です。ひきこもりや不登校、自殺はこれまでも精神衛生上の重要な課題の一つとして実践と研究が積み重ねられてきました。その智慧をここにもちより、人とのつながりの中で居場所を感じ、地域で心豊かに生きていくために何ができるか、一人ひとりが我が事として考える機会にしたいと思います。

ゴールデンウィーク明けの 5 月 9 日から参加登録および演題登録を開始しました。感染症対策のために、現地参加は先着 250 名になりますので、早めの参加登録をお願い致します。また、第 38 回大会の一般演題では、研究発表だけではなく活動報告も募集しています。精神衛生学の発展に特に寄与したと認められる発表に対しては、大会賞の贈呈を予定しています。会員の皆様のご発表をお待ちしています。

会場となる神戸市看護大学は、市の中心から地下鉄で20分程の閑静な住宅街にあるこじんまりとした単科大学です。ナイチンゲールの生誕地であるフィレンツェをイメージした校舎は、映画やドラマの撮影が行われることもあります。新幹線・空港からのアクセスも良好です。学会の後に、港の夜景を見ながら神戸のグルメを楽しんで頂くことができる程度に、感染状況が落ち着いていることを日々祈っています。



日本精神衛生学会第 38 回大会 開催概要

名 称： 日本精神衛生学会第 38 回大会

会 期： **現地 2022 年 10 月 29 日（土）～30 日（日）**

オンデマンド配信 2022 年 11 月 7 日（月）～11 月 30 日（火）

会 場： 神戸市看護大学

〒651-2103 神戸市西区学園西町 3 丁目 4 番地

テ ー マ： **『社会的孤立と心の健康』**

大 会 長： 船越 明子（神戸市看護大学看護学部 精神看護学分野 教授）

副大会長： 北村 登（神戸市精神保健福祉センター 所長）

参加対象者： 精神衛生（心の健康）に関心のある方

●参加費:

会員	非会員	学部生・院生	市民公開講座のみ参加者
4,000 円	5,000 円	2,000 円	0 円

●演題募集期間:2022 年 5 月 9 日(月)～ 8 月 5 日(金)

●参加申込期間:2022 年 5 月 9 日(月)～ 11 月 15 日(火)

●開催内容:

① 大会長講演「社会的孤立への支援」

船越明子(神戸市看護大学看護学部 教授)

② 教育講演「コロナ禍&ポストコロナの職場のメンタルヘルス」

川上憲人(東京大学大学院医学系研究科 客員研究員)

③ シンポジウム「地域で人とつながって生きる」

山崎正雄(高知県立精神保健福祉センター 所長)

川北稔(愛知教育大学教育学部 准教授)

藤井裕也(特定非営利活動法人 山村エンタープライズ 代表)

泉 翔(特定非営利活動法人ウィークタイ 代表理事)

④ 市民公開講座「マルトリートメント(不適切な養育)と社会的孤立」

友田明美(福井大学子どものこころの発達研究センター 教授)

⑤ 市民公開講座 人権啓発ビデオ「カンパニユラの夢」上映会

⑥ 自主企画

- ひきこもり支援から見えてくるもの～人を無力にするものは何か～
ヨン・ロザリン(秋田大学大学院)
- 災害時のこころのケア ～遺族ケアを中心に～
斉藤 和樹(日本赤十字秋田看護大学)
- 自殺対策ゲートキーパー研修の作り方
影山 隆之(大分県立看護科学大学)
- 不登校・ひきこもり傾向にある若者と謎解き
熊倉 崇裕(宝塚市教育委員会教育支援室)
谷口 慎一郎(NPO 法人コムサロン 21)

⑦ 一般演題(研究発表または活動報告のポスター発表)

後 援: 兵庫県、神戸市

事務局: 日本精神衛生学会第 38 回大会

神戸市看護大学看護学部 精神看護学分野内

〒651-2103 神戸市西区学園西町 3 丁目 4 番地

38thseisinkb@gmail.com

学術集会ホームページ: <https://seishin38th.jp/>

2021 年度第 3 回常任理事会議事録概要

日 時 : 2022 年 3 月 22 日 (19:00~20:40)

会 場 : Zoom にてオンライン開催

出 席 : (順不同、敬称略) 大西守、岡本淳子、影山隆之、上別府圭子、加藤純、酒井佳永、西村靖史、
福島眞澄、馬淵麻由子、丸山総一郎、吉岡伸一、水口進(第 37 回大会長)、船越明子(第 38
回大会長)、高塚雄介(オブザーバー)、記録担当(事務局員:井口)

欠 席 : 5 名、委任状: 3 通

1. 2021 年度事業報告(案)

- ・2021 年度事業計画の活動状況の報告を行った。
- ・第 37 回大会については水口第 37 回大会長より参加状況および会計報告がなされた。
- ・編集委員会(酒井委員長)より、学会誌 36 巻 2 号の発行の遅れ、J-SATGE への登載のための学会誌電子化作業の進捗が報告された。
- ・研修会・講習会・ワークショップについて、加藤理事、福島理事より 2 回のオンライン研修会の実施状況、参加者数やアンケート結果、会計収支について報告された。
- ・会員名簿の整備・発行が遅れているとの報告があった。

2. 2021 年度会計報告(暫定版)

- ・馬淵事務局長より 3/10 現在の会計収支を報告。支出に関する特記事項として学会誌 36 巻 1 号の追加発注、第 36 巻 2 号および会員名簿制作費は 2022 年度の支出となることが報告された。

3. 2022 年度事業計画(案)

- ・影山理事長より 2022 年度事業計画案が報告された。
- ・第 38 回大会長の船越理事より大会概要が報告され、詳細について検討を行った。
- ・酒井編集委員長より、2022 年度の学会誌およびニュースレターの内容と発行スケジュールが報告された。また発行の遅れ防止のための編集委員会の体制整備等について検討した。
- ・学会重点課題の「②ひきこもりへの対応に関するワーキンググループ」について、高塚理事より第 38 回大会で自主企画を実施予定との報告があった。
- ・研修会・講習会・ワークショップについて加藤理事より、好評であった 2021 年度オンライン研修のテーマを継続して、2022 年度も 2 回の研修会を実施したいとの提案があった。
- ・会員名簿の作成は馬淵事務局長に担当引き継ぐこととなった。

4. 2022 年度予算案

- ・影山理事長より 2022 年度予算案について報告を行った。学会誌 36-2 号および会員名簿の予算が繰越され、例年より収入額が多くなることが報告された。
- ・事務局を委託しているメンタルヘルスビューローの事務局員の増員について報告があり、事務局委託費についても検討していくこととなった。

5. 第 39 回大会について

- ・第 39 回大会の大会長および実施方法について検討を行った。

以上



事務局からのお知らせ

日本精神衛生学会では学会員名簿(冊子)の発行を予定しています。所属等の変更や学生会員から正会員への移行など登録情報に変更がございましたら、すみやかに事務局へご連絡ください。登録情報の変更は、学会ホームページ「会員の皆様へ」にある用紙にご記入の上、メール、FAX、郵送のいずれかにてご連絡をお願いいたします。